

第37期第2回理事会議事録

日 時：2012年10月3日（水）18時35分～20時05分

会 場：北海道大学学術交流会館（第4会議室）

出席者：新野，藤谷，岩崎，経田，佐藤（薫），里村，塩谷，柴田，竹見，田中，徳廣，中島，中村（健），中村（尚），長谷部，廣岡，藤部，三上，余田，以上19名（理事現在数27名）

書面による出席者：神田，楠，郷田，近藤，佐藤（正），須田，長谷川，山田，以上8名

欠席者：なし

その他の出席者：牧原（大会委員長），田沢（事務局）

議 題

議事に先立ち新野理事長より秋季大会を担当した北海道支部に対して感謝の意が表明された。

1. 第37期第1回理事会議事録の確認

2. 2013年度春季大会，秋季大会の準備状況及び今後の担当機関について

標記に関して準備状況を確認し，2015年度秋季大会の担当機関が関西支部であることを確認した。

3. 定款案・細則案の修正について

公益認定等委員会担当室からの指摘事項に対する対処案について検討を行い，定款案並びに細則案の修正案については全会一致で了承した。

4. 臨時総会の開催について

議事3で了承した定款案並びに細則案の修正については総会承認事項であることから，臨時総会を開催することを全会一致で了承した。開催日時は12月26日，場所は気象庁内を予定している。

5. 第37期評議員会について

今期の評議員会のテーマ並びに構成案について検討を行い，テーマについては第36期に引き続き「現代社会における学会の役割と今後への展望」とすること，また，評議員会の構成についてもその大枠を原案通り全会一致で承認した。

6. 2013年度事務局体制について

標記について，萩原事業部長の2013年3月31日付の退職と，田沢事務局長および渡辺経理部長の継続勤務を全会一致で承認した。また，萩原事業部長の後任は人選中であることが報告された。

7. 新賞の設置について

学会賞候補者推薦委員会，山本・正野論文賞候補者推薦委員会の検討の報告を受けて，中堅研究者の5年程度に渡る業績を褒賞する新たな賞（仮称：正野賞）と，社会貢献に顕著な業績のあった者を表彰する新たな賞（仮称：岸保賞）を来年度の早い段階で設置することを了承した。なお，現山本・正野賞は山本賞（仮称）として論文賞のまま，日本気象学会賞は変更なしとすることを確認した。

8. 各委員会からの報告

気象研究ノート…今後の出版計画等の報告があった。

- ・電子版の会員への配布と販売について，複製や配布の許可を著者から得ていない原稿の扱いが当面の課題になっていることの報告。

SOLA…投稿論文の処理の進捗について報告.

講演企画…電子版予稿集の試行について、アンケート結果が順調に集められたことの報告.

学術…「日本の気象学の現状と展望」についての会員意見募集を学会HPに掲載して対応することの報告.

教育と普及…中学校・高等学校からの出前授業の要望に応える体制づくりを検討していることの報告.

学会賞…ここ4年間、各年の選定数が1件ずつに留まっていることの報告.

・推薦数の減少傾向への対策として、過去の受賞者個人宛に推薦依頼文書送付を実施したことが報告された.

国際学術交流…2014年の日中韓気象学会共催国際会議をAOGS（札幌開催予定）と関連させて実施していくことについての報告.

電子情報…会員向け及び各委員会用のメーリングリストの運用と電子版天気のアーカイブを担うサーバのあり方と移行についての報告.

・公益法人移行を見据えて、会員の電子メールアドレスを集めるなどで会員全員に連絡を届けるシステム構築の必要性を議論した.

地球環境…地球温暖化書籍事業の進捗報告.

人材育成・男女共同参画…体制についての報告.

・秋季大会期間中に開催予定の第1回会合にて今後の方針を議論することが報告された.

9. 各支部からの報告

北海道支部より秋季大会の運営について報告があった。支部機関誌「細氷」の電子化が報告された。

東北支部より6月の理事会開催、10月山形での気象講演会開催予定が報告された。気象サイエンスカフェは日本気象予報士会に担当を設けた運営とすることが報告された。

中部支部より気象サイエンスカフェと公開気象講座の開催、11月の研究会開催予定が報告された。

関西支部より夏季大学の実施、例会と気象サイエンスカフェの開催予定が報告された。

九州支部より11月開催の「こども気象学会」の進捗が報告された。気象予報士会との合同開催とする2月の気象サイエンスカフェの予定と3月長崎での支部発表会開催予定が報告された。

10. その他

(1) 日本学術会議における学術の大型施設計画・大規模研究計画について
標記についての最近の動向と対応について議論した。

(2) 公益法人移行後の支部長会議について

藤谷理事より、公益法人移行後速やかに開催することを検討していることが報告された。

平成25年3月18日

社団法人日本気象学会

議長 新野 宏

署名人 藤谷徳之助

署名人 経田 正幸